

## 団体名：特定活動非営利法人すぎなみのたね

助成額：99,839 円、助成回数：3 回

### 【「未来につなぐ募金」助成事業活動の目的】

共働き家庭の子どもが多く、子どもだけの食事は、インスタントやコンビニ弁当等の普及で手軽に食事を済ませる傾向にある。また、家庭での食事でもその傾向にあるため、調理してみんなで食べるとおいしいと感じる取り組みを行う。

共働き家庭の子どもは、家族といっしょに台所に立つ経験が少なく、一緒に食卓を囲む楽しさや会話をする事の大切さを感じることも少ないため、この活動で子ども達が配膳や年齢に応じた簡単な調理作業をできるだけ親やシニア世代の参加者と一緒に行うことを大事にし取り組む。

子どもが料理を創る喜びを感じることができないため、料理を創ることの楽しさを感じる取り組みを行う。

前述の食の活動で地域とのつながりを深め、支え合うことが少ないため、誰でも気楽に立ち寄れる居場所作りを行い、子育て世代、シニア世代など年齢で子どもたちとつながり、育ちを支え合うことを目指していく。

### 【「未来につなぐ募金」助成事業活動のまとめ】

「ふれあい食堂」、「子ども料理人」等を実施し、調理しお客さんに食べてもらう喜び、並びに暖かい食事を提供し、みんなで食べるとおいしいと感じる機会を提供することで、子どもや地域の方々が食を通してふれあいの場を体験し、子どもと地域の絆を広げ、深める活動を効果的に促進できた。高齢者と小学生が協力して、昼食を調理し、調理を楽しむ機会や異年齢で食事を楽しむ機会を提供することで、食育などを含めた創意工夫を取り入れ、より一層の充実が図れた。

近隣中学校の定期試験前に、学習スペースを提供し、必要に応じて大学生並びに元高校教師による学習支援を行うが、その学習の合間に軽食を提供し、中学生たちに友人と食事を楽しむ喜びを感じる機会を提供することで、料理経験豊かなシニア世代から知恵のおすそわけ的交流が図られた。

大学生、高齢者等の地域ボランティアが行う「昔遊び」,[工作]、「マジックショー」,「バルーンアート」等を食後の時間に楽しんでもらうことで、料理や子どもとの交流が深まった。





# えいぶく まんぶく ふくぶくひろば実行委員会

「ふくぶくひろば実行委員会」は、ゆうゆう永福館・NPO法人「すぎなみのたね」・永福南児童館や地域の有志の方々と構成される組織です。ゆうゆう永福館や永福南児童館を会場に、「Cafe勉」・「木曜Cafe勉」・「朝イチくらぶ」などの学習支援事業や「キッズシェフとシニアシェフのひろごはん」「ふくぶくひろば」などの子ども食堂関連事業を実施しています。

## 子ども食堂 関連事業



### ふくぶくひろば

【実施回数/対象】年2回実施 / 乳幼児～大人  
【会場】永福南児童館  
【目的】子どもから大人まで、大勢で食事をする楽しさを共有する機会を提供する  
【内容】ふれあい食堂(子ども食堂) 学習の時間 (Cafe勉SP) 子ども料理人(調理指導:すぎなみのたね) 工作の時間



### キッズシェフとシニアシェフのひろごはん

【実施回数/対象】年2回実施/小学生・ゆうゆう永福館利用者  
【会場】ゆうゆう永福館  
【目的】異世代交流・調理体験  
【内容】小学生とシニア世代の参加者が協力してひろごはんを作り、会食する。(調理指導:すぎなみのたね)

## 学習支援 事業



### Cafe勉

【実施回数/対象】実施回数/対象 向陽中学校試験前の3～4日間(年19日)/中学生  
【会場】ゆうゆう永福館  
【目的】中学校の定期試験前に学習機会を提供する。学びを共有することにより、学習効果を上げる。  
【内容】学習室/学習指導 すぎなみのたねによる軽食の提供

### 木曜Cafe勉

【実施回数/対象】毎週木曜日(年24日)/中学生  
【会場】ゆうゆう永福館  
【目的】学習支援  
【内容】学習室/個別指導

### Cafe勉～書初めに挑戦!

【実施回数/対象】冬休み中の土曜日(年1回)/小・中学生  
【会場】ゆうゆう永福館  
【目的】冬休みの宿題である「書初め」の指導  
【内容】書初めの指導 すぎなみのたねによる軽食の提供

### 朝イチくらぶ

【実施日/対象】夏休み最初の4日間/小学生  
【会場】ゆうゆう永福館  
【目的】夏休みの朝型生活リズムの定着 学習室 自由研究のヒントになるプログラムの実施  
【内容】学習室/科学的なプログラム

問い合わせ ふくぶくひろば実行委員会

永福南児童館 ☎3322-6148

※平成29年10月現在の事業です